

# 5年(下)第12回 例題の解説

## 例題2

次の問いに答えなさい。

- (1) Aの5倍とBの4倍が等しいとき、A : B を求めなさい。
- (2) Aの $\frac{3}{5}$ 倍とBの1.2倍が等しいとき、A : B を求めなさい。
- (3)  $A \times 1\frac{1}{2} = B \times \frac{1}{4} = C \times 3$  のとき、A : B : C を求めなさい。

(1)  $A \times 5 = B \times 4 = 1$  とします。

$A = 1 \div 5 = \frac{1}{5}$  (5の逆数)  
 $B = 1 \div 4 = \frac{1}{4}$  (4の逆数)

$A : B = \frac{1}{5} : \frac{1}{4}$   
 $= \frac{4}{20} : \frac{5}{20}$   
 $= 4 : 5$

4 : 5

(2)  $A \times \frac{3}{5} = B \times 1.2$   
 ↓ 分数に直します。  
 $A \times \frac{3}{5} = B \times \frac{6}{5}$   
 ↓ 5の逆数 ↓ 5の逆数

$A : B = \frac{5}{3} : \frac{5}{6}$   
 $= \frac{10}{6} : \frac{5}{6}$   
 $= 10 : 5$   
 $= 2 : 1$

2 : 1

(3)  $A \times 1\frac{1}{2} = B \times \frac{1}{4} = C \times 3$   
 ↓ 仮分数 ↓  
 $A \times \frac{3}{2} = B \times \frac{1}{4} = C \times 3$   
 ↓  $\frac{2}{3}$  逆数 ↓ 4 ↓  $\frac{1}{3}$

$A : B : C = \frac{2}{3} : 4 : \frac{1}{3}$   
 $= \frac{2}{3} : \frac{12}{3} : \frac{1}{3}$   
 $= 2 : 12 : 1$

2 : 12 : 1

## 例題3

太郎君と次郎君の持っているお金の差は300円です。また、太郎君の持っているお金の $\frac{2}{3}$ と次郎君の持っているお金の $\frac{4}{5}$ は同じ金額です。これについて、次の問いに答えなさい。

- (1) 太郎君と次郎君の持っているお金の比を求めなさい。
- (2) 太郎君は何円持っていますか。

(1) 太郎君  $\times \frac{2}{3} =$  次郎君  $\times \frac{4}{5}$   
 ↓  $\frac{3}{2}$  ↓  $\frac{5}{4}$

太郎君と次郎君の持っているお金の比は

$\frac{3}{2} : \frac{5}{4} = \frac{6}{4} : \frac{5}{4}$   
 $= 6 : 5$

6 : 5

(2) 太郎君の持っているお金を⑥円とすると次郎君の持っているお金は⑤円となります。

差が300円  
 ですから  
 ① = 300円  
 太郎は⑥なので  
 $300 \times 6 = 1800$ (円)

1800円